

第3回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

都市基盤・自立生活支援部会（会議要旨）

日 時	平成23年11月18日（火）18:00～19:00
場 所	北九州市役所5階 特別会議室A
出席委員 （9名）	市川委員、大関委員、桑園委員、小柳委員、杉原委員、林委員 比舗委員、米島委員、オブザーバー 木下委員
欠席委員 （0名）	
事 務 局	【保健福祉局】 障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、 障害福祉センター所長、精神保健福祉センター所長 【関係課】 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課、建築都市局建築指導 課、建築都市局都市交通政策課、建設局道路計画課、消防局危機管理 室地域防災課、交通局運輸課
次 第	1 開会 2 議事 （1）「（仮称）北九州市障害者支援計画」【素案】について 3 閉会

会 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
事務局	<p>【開会】</p> <p>ただ今から第3回「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会都市基盤・自立生活支援部会」を開催する。</p> <p>より市民の皆様の声を反映させるため、市政モニターの木下委員にもご出席いただいている。</p> <p>本部会で審議する項目は、「(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】」である。なお、この部会では本日が最後の部会となっていること、委員の皆様から議論を長く取ってほしいとのご意見をいただいたことから事務局からの説明は最小限とさせていただく。</p> <p>本部会の公開について、策定委員会と同様に公開とさせていただく。なお、会議終了後は、会議録を作成し、市のホームページに掲載して市民の皆様へ情報提供させていただくので、ご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">配布資料確認</p> <p>この後の進行は、部会長をお願いします。</p>
部会長	<p>【議事】</p> <p>それでは、議事に沿って進めていくので、委員の皆様にはご協力をお願いします。</p> <p>【(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】について】</p> <p>議事(1)の「(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】について」、事務局から説明をお願いします。</p>
障害福祉課長	<p style="text-align: center;">資料に基づき事務局説明</p>
部会長	<p>何か質問はないか。</p>
委員	<p>本計画については、市町村障害者計画と市町村障害福祉計画の両建てという形となっているが、資料を見ると、障害者自立支援法に基づく市町村障害福祉計画の数値目標を具体的に平成26年度まで示しているが、この数値については、国から指標があってこのような数字となったのか、もしくは、市が重点的な施策として考慮した結果このような数字となったのか、どちらなのか。</p> <p>もう一つは、市町村障害者計画において、今までになかった項目やより強</p>

	<p>調した項目について、分かりやすく示す方法はあるか。パブリックコメントを実施する際に、特に重点的な箇所を強調して示す予定なのかどうか伺う。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>数値目標について、基本的には国の基本指針に基づき、地域の実情や過去の実績に基づき設定した。ただ、基幹相談支援センターの数などはまだ明確な指針がないため、本市の今ある資源や現状を踏まえ提示している。</p> <p>それから、本計画の重点的な部分については相談支援体制、就労、人権、発達障害や難病などがあるので、そのような箇所を柱として概要版を作成したい。</p>
<p>部会長</p>	<p>本日が最後の部会となるため、委員の皆様には一言ずつ感想をお願いする。</p>
<p>委員</p>	<p>様々な資料を見ていく中で、非常に幅広いボリュームのある事業ということで非常に驚いた。障害者の中には、起業を考えている方もいると思うが、それを本計画に盛り込んであり、能力を生かして操業する障害者の方のサポートをするきっかけを作っていただいたことは非常にありがたいと感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>就労移行支援事業所や就労継続支援（A型、B型）の利用件数が増加するとあるが、そこからどのように就職させていくのかが重要であると感じているので、もう少し力を入れたらよいのではと思う。障害者雇用が進まない中で、いかに就職できる人を育てていくかということについて、今回の計画は整理されていると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>防災について、やはり行政が主動となって、自治区会と地域の小さな事業所をつなぐ必要がある。小規模な事業所は、独自に防災を整えたり避難訓練をするのが困難である。そのため、各地区の社会福祉協議会の中に、地域の小規模の事業所や障害福祉サービス事業所を委員としての参加を主動することも必要であると感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>親族にLDの子どもがいるが、障害者雇用として企業に雇用されている。仕事は楽しいといっており趣味もある。また、給料ももらっていることから自立心を持って社会に接していると感じている。しかし、親亡き後の人生については心配が残るところでもある。</p>
<p>委員</p>	<p>財源の格差など地域間格差が広がりつつあると感じている。いかに地域間格差を広げないかも重要であると思うが、事業をリフレッシュしていくために、既存事業の見直しなどを行うことが重要となると思う。</p>

<p>委員</p>	<p>発達障害が取り上げられたのはうれしく思う。発達障害に関する支援体制が整備されていくことを願っている。</p> <p>防災について、作業所や工芸舎に行っているときはそこで対応してもらえ るが、家族で対応したときは、地域でわかってもらえないし、例えば小学校 へ避難するとしても、家から小学校へ連れて行くまでが大変な子どもでもあ るし、そこに行ったけれどもそこにもいれないという子どもはどこに行った らよいのかということなどについても支援体制を作ってほしいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>防災について、以前、福祉施設にも防災器具を備えるようにしようという 取り組みがあったが、今は薄れてきている感じがある。もう一度その辺をし っかりしていく取り組みがあってもよいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>ピアサポート事業やピアヘルパー事業に関する事業について考えていき たい。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございました。今回で、部会は最後になる。本日出された意見 や意見シートでご提案いただいたものについては、事務局と協議の上、一任 させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>部会長</p>	<p>ご了解いただきありがとうございます。それでは本日の（次期）北九州市 障害者支援計画策定委員会都市基盤・自立生活支援部会を閉会とする。</p>